

日時：2004年6月9日(水)
13:00～17:00

場所：コクヨホール
東京都港区港南1丁目8番35号
TEL:03-3450-3712

情報通信月間参加行事

場所：コクヨホール
東京都港区港南1丁目8番35号
TEL:03-3450-3712

第3回 タイムビジネスシンポジウム

対象：一般

会場へのご案内

参加費：無料

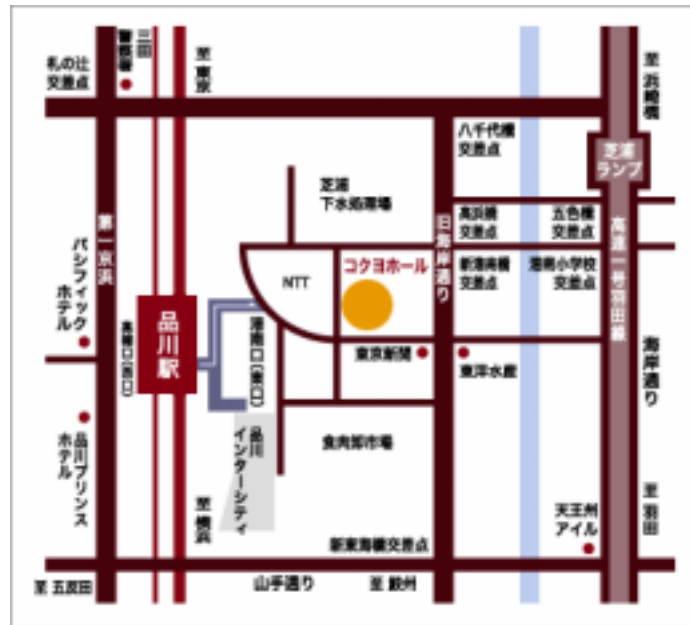
---『タイムビジネスの「今」を知る!』---
～タイムビジネスが動きだした!～

定員：280名
*定員になり次第締め切りとさせていただきます。

お申込み方法
タイムビジネス推進協議会のホームページより 第3回
タイムビジネスシンポジウムの開催要領の申し込み方
法をご参照の上お申込み下さい。
(<http://www.scat.or.jp/time/>)

問合せ先
「タイムビジネス推進協議会」事務局

〒160-0022 新宿区新宿1-20-2 小池ビル
(財)テレコム先端技術研究支援センター内
TEL:03-3351-8423
FAX:03-3351-6690
e-mail: tbf@scat.or.jp (事務局専用アドレス)



日時：2004年6月9日(水)
13:00～17:00
場所：コクヨホール

主催：タイムビジネス推進協議会



協賛：財団法人テレコム先端技術研究支援センター
情報通信月間推進協議会

後援：総務省(予定)



JR品川駅中央改札口より徒歩10分
新幹線乗り場より徒歩5分
品川駅港南口より徒歩1分
駐車場はございません。

「第3回タイムビジネスシンポジウム」

---『タイムビジネスの「今」を知る!』---
~タイムビジネスが動き出した!~

開催趣旨

本年も「時の記念日」に先立ち、第3回目のタイムビジネスシンポジウムを開催致します。現在、タイムビジネス推進協議会は学識経験者、情報通信研究機構、タイムビジネスにかかるサービスを提供する企業、これらのサービスを利用する企業・行政機関や研究機関など90を超える会員を抱える組織になり、その数は今だに増えつづけております。

活動も日本という枠から世界へと守備範囲を広げる一方、動向調査によって国内のタイムビジネス利用業務の絞込みと深堀を行い、同時に技術分科会ではユニークで活発な活動を継続しております。

これまでタイムビジネス(標準時配信・認証ビジネスと時刻認証ビジネスの総称)の重要性や必要性を第1回、第2回目のシンポジウムを通じて訴求して参りました。今回のシンポジウムではタイムビジネスが普及・啓発のフェーズから利活用のフェーズに本格的に移行して来ている「今」を実感し、尚且つ「今」を象徴する世の中の動きとタイムビジネスが符合し合っている事実を紹介することに力点を置きました。また、今年になって開始されたワーキンググループの活動報告を始め、ドイツ視察団の報告など、新鮮な情報をご提供したいと思います。

「e-Japan戦略II加速化パッケージ」という名が示すように、IT社会の実現は加速化され、否応無しに我々の社会生活・ビジネス・教育などの形を変えつつあります。万民に公平に与えられた時間と唯一絶対の基準である時刻を核としたタイムビジネスを賢く活用することで、IT社会の真の利益を享受することも可能かと思われま。

各企業、行政機関、研究機関、大学を問わず、法務・知財系、企画系、IT情報系、技術系、総務・人事系など様々な業種・部門から多数の皆様のご参加をお待ちしております。タイムビジネスの技術研究や普及啓発活動をこのように組織として行っている協議会は世界でも例を見ません。真に世界最先端のIT国家を実現するためにも、信頼のかける時刻認証基盤を構築するためのタイムビジネスは欠かせないのであると確信しています。

タイムビジネス推進協議会

~プログラム~

- 13:00~13:05 開会挨拶
タイムビジネス推進協議会事務局
(財)テレコム先端技術研究支援センター
専務理事 立野 敏
- 13:05~13:15 会長挨拶
タイムビジネス推進協議会会長
中央大学総合政策学部長
総合政策学部教授 大橋 正和
- 13:15~13:45 特別講演
『ユビキタスネットワーク社会の実現に向けて』
総務省
大臣官房技術総括審議官 鬼頭 達男
- 13:45~14:25 基調講演1
『新生NICTと日本標準時』
独立行政法人情報通信研究機構
電磁波計測部門
研究主管 森川 容雄
- 14:25~15:05 基調講演2
『コンストラクションプロセスと時(タイム)』
株式会社松村組
IT開発グループ リーダー 山本 隆彦
- 15:05~15:30 休憩 (展示ブースにて体験コーナー、
カタログコーナーあり)
『タイムビジネス推進協議会活動報告』
(企画部会)
- 15:30~16:00 調査研究分科会
『タイムビジネス市場調査及びドイツ視察報告』
調査研究分科会主査 三谷慶一郎
- 16:00~16:20 規制改革要望WG
『IT規制改革要望書提出』
規制改革要望WG 内藤 隆光
- 16:20~16:25 広報分科会 『活動報告』
広報分科会主査 佐藤 忠弘
- (技術部会)
- 16:25~16:40 ガイドライン分科会
『時刻認証基盤ガイドライン』
ガイドライン分科会主査 本田 雅裕
- 16:40~16:55 実証実験分科会
『実証実験の状況報告』
実証実験分科会主査 鳥山 裕史
- 16:55~17:00 閉会挨拶
タイムビジネス推進協議会事務局

~講師紹介~

- 大橋 正和 タイムビジネス推進協議会会長
中央大学総合政策学部長
総合政策学部教授・工学博士
専門分野は、情報科学(電子社会システム)
・環境流体力学
中央大学大学院理工学研究科博士後期課程
修了
電子社会基盤研究会(総務省、経済産業省、
国土交通省)、iDCイニシアティブなどの会長も
務めている。
- 鬼頭 達男 総務省 大臣官房技術総括審議官
京都大学工学部電気工学第二学科卒
昭和48年 郵政省入省(電波監理局技術調査課)
62年 東北電気通信監理局電気通信部長
63年 通信政策局情報管理課情報処理室長
平成 3年 電気通信局電波部移動通信課長
6年 通信政策局技術政策課長
9年 北陸電気通信監理局長
11年 近畿電気通信監理局長
12年 関東電気通信監理局長
13年 総務省総合通信基盤局電波部長
15年 現職に就任
- 森川 容雄 独立行政法人情報通信研究機構 電磁波計測
部門研究主管
1972年郵政省電波研究所(現、独立行政法人
情報通信研究機構)入所
水素メーザ、セシウム周波数標準器などの原子
周波数標準器、衛星を利用した精密時刻比較
や周波数供給などの時間・周波数標準分野の
研究ならびに衛星測位システムのための衛星
搭載原子時計の研究開発に従事
現在、電磁波計測部門研究主管
- 山本 隆彦 大阪市立大学卒、神戸大学大学院修了
松村組入社後、現場監督などに従事
CALS総プロや公共調達コンソーシアムの委員
を歴任
現在日本土木工業協会や建築業協会などでの
CALS/ECや建設情報化の活動に参加
日本建築学会、情報知識学会、情報ネットワ
ーク法学会に所属
インターネットに適合した電子データの視点から
建設生産を考える一級建築士・ファシリティマネ
ジャー・CALS/ECエキスパート